JAMSTEC NEWS
なつしま
2018 5
海洋・地球・生命統合的理解への挑戦
JAMSTEC 国立研究開発法人 海洋研究開発機構
JAPAN AGENCY FOR MARINE-EARTH SCIENCE AND TECHNOLOGY

国際化に向けた新生JAMSTEC元年として記憶される年に

平成30年度創立記念式典理事長挨拶

今年度は、第3期中期計画の最後の年となります。

本中期計画の開始にあたり、平成25年3月に第1回 JAMSTEC アドバイザリー・ボード（JAB）を開催し、世界各国の海洋研究機関のトップリーダーや専門家から、当時の JAMSTEC の研究開発状況および中期計画のレビューを受けました。そこで、JAMSTEC は従来の研究の枠にとらわれることなく新しい分野に挑戦すべきこと、それを研究・技術・運営のより密接な戦略的な連携によって実施すべきであること、また、長期的に見て、多様な人材の登用と育成こそが組織の底力になること、その中で特に、国際化、女性の活躍が重要であること等の提言を受けました。

科学助言委員会（SAC）からの高い評価

それから5年、本中期計画の進行状況についてレビューを受けるべく、今年3月に第2回科学助言委員会（SAC）および第2回 JAB を開催しました。科学評価については、この5年間にプレート境界地震の研究、地下微生物の研究、インド洋における海洋変動の研究等を大きく進展させたことが認められ、また、JAMSTEC が世界に誇る船舶や地球シミュレータなどの装置を利用してユニークな研究に取り組んできたことが高く評価されました。

人材の登用・活用と国際化への取り組み

その一方で、組織の面では大きな課題が残っていることも指摘されました。それは、第1回 JAB で指摘された人材の登用・活用の問題です。国際ポスドク制度の導入は大きな成果を上げましたが、JAMSTEC 全体の国際化は進んでいないのが現状です。世界トップ10と言われる高評価論文の90%以上は国際共同研究において実施されたものであり、若い力による国際的な頭脳循環がますます重要になってきています。

我々の組織はまだまだ、開かれたものとはとてもいえません。ともすれば、これまでの慣性に流され、内向きになり、改革に向けた着実な歩みが順調とはいえない状況です。

昨今、さまざまな運営上の問題が起きており、これについては私が先頭に立って、この問題に取り組まなければならないと思っています。また、雇用制度も変わり、これからは全員が安定ある雇用条件で働くことになります。これはとても大きな変革です。安定と引き換えに改革の速度が遅くなることは許されません。これからは、改革、とくに国際化に向けた取り組みを加速させます。そのための能力を皆さんに身につけていただくような仕組みをつくって行きます。今年度は中期計画の最終年度であると同時に、国際化に向けた新生 JAMSTEC 元年として記憶される年にしたいと考えます。

多くのチャレンジに立ち向かう年

今年度からは、第2期戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）において新プロジェクト（革新的深海資源調査技術）がはじまり、現 SIP プロジェクトとともに2つの SIP プロジェクトが並走する忙しい状態になります。また、「ちきゅう」は、今年度後半に5か月におよぶ南海トラフでのライザー掘削航海を実施します。

現場の集中力、安全意識を高めて、多くのチャレンジに立ち向かいたいと思います。ともに頑張りましょう。

平成 30 年 4 月 2 日　平　朝彦

地球深部探査船「ちきゅう」

SAC委員とJAMSTEC役職員

REPORT

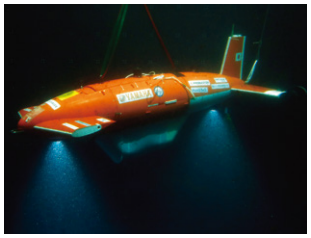
日本発の海洋探査チーム「Team KUROSHIO」Shell Ocean Discovery XPRIZE「Round2 実海域競技」(決勝)進出決定

JAMSTEC、東京大学生産技術研究所、九州工業大学、海上・港湾・航空技術研究所、三井 E&S 造船、日本海洋事業、KDDI 総合研究所およびヤマハ発動機からなる「Team KUROSHIO」は、海中ロボットなどを用いて、超広域高速海底マッピングの実現を目標とする海底探査技術の世界コンペティション「Shell Ocean Discovery XPRIZE」に挑戦しています。

平成30年3月7日にXPRIZE財団よりRound1技術評価試験(試験実施は1月)の結果が発表され、「Team KUROSHIO」は10～11月に行われる「Round2 実海域競技」へと進出することとなりました。また、平成30年3月15日に英国ロンドンで開催された国際会議「Oceanology International 2018」にてXPRIZE財団による中間賞授賞式が行われました。

Team KUROSHIO は、このコンペティションに勝ち残っている唯一の日本チームとして、日本代表という意気込みでRound2 に向けて着実に準備を進めてまいります。

また、Round2 に向けて、皆様より更なるご支援・ご声援をいただきたく、Team KUROSHIO クラウドファンディングの第2弾を実施しています。詳細は https://a-port.asahi.com/projects/kuroshio/ をご覧ください。



自律型海中ロボット「AE2000f」(東京大学生産技術研究所)

「Round1技術評価試験」での記念撮影

中間賞授賞式の様子

TOPICS

JAMSTEC ベンチャーオフショアテクノロジーズ設立

JAMSTEC で開発された多目的小型観測フロート、多目的観測グライダー、およびその搭載デバイスなどを用いて、変化する自然環境を捉え、漁業、農業、工業など人々の営みをより良くする新しいサービスを創造することを目指し、2018 年4月2日に合同会社オフショアテクノロジーズが設立されました。

オフショアテクノロジーズの事業内容は、観測機器、搭載デバイスなどの製造・販売と新規デバイスの設計開発受託の2本柱です。また、これらの事業を通じて、市場に新しいサービスを提案することを考えています。長期的には、養殖漁業の監視、農作物の管理、科学研究、災害対策など幅広い分野の自動化に貢献出来る企業体制を構築していく予定です。

同社は、JAMSTEC ベンチャー支援制度により JAMSTEC の知的財産を活用して、開発された技術の社会実装に貢献することも目的としています。JAMSTEC 発のベンチャーとして、オフショアテクノロジーズの活躍に是非ご期待ください。

(イノベーション・事業推進部)

OFFSHORE TECHNOLOGIES

北部太平洋で投入される多目的観測グライダー

第 20 回「ハガキにかこう海洋の夢コンテスト」表彰式開催

3月25日(日)、JAMSTEC 横須賀本部にて第20回「ハガキにかこう海洋の夢コンテスト」の表彰式が開催され、入賞者10名とそのご家族が集まりました。入賞者には賞状とオリジナルグッズを贈呈、さらに7月に行われる深海調査研究船「かいれい」の体験乗船に招待します。表彰式のあと施設見学を行いました。

そのほかの入選者には賞状とオリジナルグッズを贈呈。応募者全員には参加賞として缶バッチをプレゼント。海洋科学技術普及賞には賞状を贈呈しました。

表彰式

第 20 回全国児童
「ハガキにかこう海洋の夢コンテスト」入賞者発表

今回で 20 回目を迎える全国児童「ハガキにかこう海洋の夢コンテスト」の受賞者が決定しました。本コンテストでは、海洋に関する普及啓蒙活動の一環として、子供たちの海洋への関心を高めることを目的に、ハガキサイズの紙に海洋への夢やアイディアを表現した作品を毎年募集しています（協賛：ダイハツディーゼル株式会社、五洋建設株式会社、セイコーウオッチ株式会社、株式会社フグロジャパン、清水建設株式会社、三菱重工業株式会社　後援：文部科学省、一般社団法人日本理科美術協会、公益財団法人画像情報教育振興協会）。

今回は全国より 23,822 点の応募があり（絵画部門 21,748 点、CG 部門 271 点、アイディア部門 1,803 点）、厳正な審査を経て入賞 10 点、入選 100 点が決定しました。入賞・入選作品は JAMSTEC のホームページで公開しています。
http://www.jamstec.go.jp/j/kids/hagaki/index.html

文部科学大臣賞　絵画部門

水深 200mで行う シーラカンスの生態調査
加藤 立
愛知県名古屋市立大森北小学校 5 年

海洋研究開発機構 理事長賞　絵画部門

お祭りの金魚すくいの袋に入って、海底さんぽ
福田菜々子
千葉県習志野市立津田沼小学校 3 年

日本理科美術協会賞　絵画部門

ジンベエザメの潜水艦で大発見!
佐藤恵音
宮城県仙台市立金剛沢小学校 4 年

CG-ARTS 賞　CG 部門

ちょうちんあんこうのゆめのせかい
松本さくら
福岡県福岡市立西戸崎小学校 3 年

JAMSTEC アイディア賞　アイディア部門

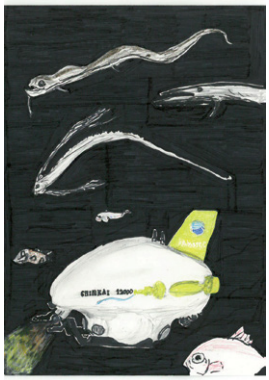
AI なので自分から捕食されるすぐれもの。画像も送れる。捕食されたら、捕食者の中にとどまり、定期的に画像や、位置を発信してくれる。それにより食物連鎖の解明につながりウナギらの、絶滅危惧種の解明につながる。

AI エサ
吉岡鉄平
埼玉県八潮市立
大瀬小学校 2 年

海洋環境にやさしい賞（ダイハツディーゼル賞）　絵画部門

七色にかがやく海のこビン
古屋美晴
神奈川県
横須賀市立
諏訪小学校
4 年

海洋の夢賞　絵画部門



しんかい 12000 と深海魚達
中富慧辰
神奈川県横浜市立
金沢小学校 6 年

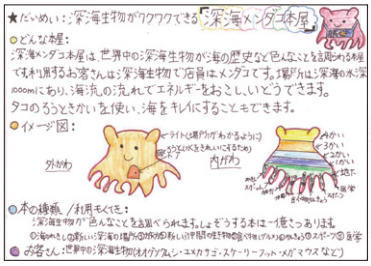
海洋の夢賞　絵画部門

魚とお話しできるかな?
池田泰正
大阪府大阪市立
晴明丘小学校 2 年

海洋の夢賞　絵画部門

クリオネといっしょに見つけたよ! 海ぞくの宝物
蒲木咲南
宮城県仙台市立広瀬小学校 3 年

海洋の夢賞　アイディア部門



深海メンダコ本屋は、世界中の深海生物が海の歴史など色んなことを調べられる本屋です。利用するお客さんは深海生物で店員はメンダコです。場所は深海の水深 1000m にあり、海流の流れでエネルギーをおこし、移動できます。タコのろうときかいを使い、海をキレイにすることもできます。

深海生物がワクワクできる「深海メンダコ本屋」
中路波希
神奈川県湘南白百合学園小学校 3 年

TOPICS

第2回JAMSTECアドバイザリー・ボード」が開催

平成30年3月6日（火）と7日（水）の二日間にわたって、JAMSTEC横須賀本部および横浜研究所において、「JAMSTECアドバイザリー・ボード」（JAB）を開催しました。平成25年3月の第1回開催に引き続き、今回が第2回の開催となります。

米国ウッズホール海洋研究所のSusan K. Avery名誉所長が前回に引き続き議長を務め、世界各国の海洋研究機関のトップリーダーや専門家が委員として参加しました。

会合では、JAMSTECの概要、主な研究開発成果や活動状況などについて委員に説明し、JAMSTECの現状と今後の方向性などについて活発な議論を行いました。また、中堅・若手の研究者・技術者が説明役となって、機構の保有する研究施設・ラボの視察やポスターセッションなどを実施し、委員との意見交換や交流の機会を得ることができました。

委員からは組織の国際化や人材育成などに関する提言がなされ、JABから得られた知見は今後の機構の経営戦略に活用することといたします。

（経営企画部）

JAB委員とJAMSTEC役職員（横浜研究所）

平成 30 年度予算概要

平成30年度予算が3月28日に成立し、JAMSTEC の予算は総額313億円（平成29年度予算総額317億円）となりました。平成29年度に引き続いて予算が認められた以下のプロジェクト等の推進を通じて、我が国が取り組むべき経済・社会的課題の解決や、海洋立国としての更なる成長に貢献する取り組みを牽引します。

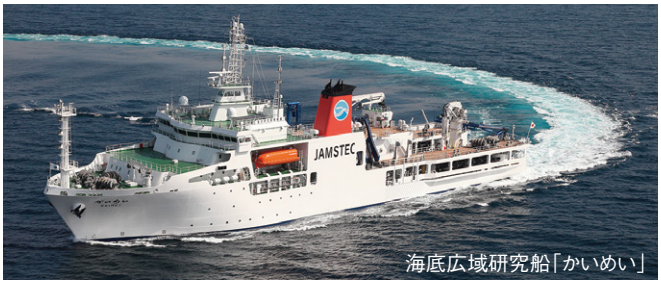
国土強靭化に向けた海底広域変動観測

海底地殻変動の連続リアルタイム観測の技術開発や、海底広域研究船「かいめい」等による海底震源断層の広域調査を実施し、観測データからより現実的なモデル構築および推移予測手法の開発および評価を行うことで、切迫する南海トラフ地震やそれに伴う津波発生予測の高精度化を目指します。

統合的海洋観測網の構築

海洋観測の強化への取り組みとして、漂流フロート、係留ブイ、船舶による観測等を組み合わせた統合的な海洋観測網を構築します。また、北極域研究船の建造に向けた調査検討を実施します。

（経営企画部）



海底広域研究船「かいめい」

INFORMATION

国立研究開発法人 海洋研究開発機構 役員人事

平成 30 年 4 月 1 日発令

理事（再任） 篠崎資志

理事（再任） 東　垣

理事　　阪口　秀

（注）理事の任期は、平成 31 年 3 月 31 日まで

平成 30 年 3 月 31 日

任期満了：理事　白山義久

EVENT

横須賀本部 施設一般公開開催

JAMSTEC 横須賀本部の施設一般公開を実施します。今年は支援母船「よこすか」公開や有人潜水調査船「しんかい 6500」をはじめさまざまな深海探査機、装置の実機展示を予定しています。また、XPRIZE 挑戦中の Team KUROSHIO などの公開セミナーや展示、子ども向け体験コーナーなど、たくさんの楽しいイベントを用意して、皆様をお待ちしております。ぜひ、ご来場ください。

【開催日時】
2018 年 5 月 12 日（土）
9：30～16：00（15:30 入場受付終了、雨天実施）
【会場】
JAMSTEC 横須賀本部
（神奈川県横須賀市夏島町 2-15）
当日は、京浜急行線「追浜駅」から専用無料送迎バスあり。詳細は JAMSTEC HP をご覧ください。

H30 年度 船舶一般公開の予定

JAMSTECが保有する研究船や探査機を一般公開しています。調査・研究で活躍する本物の研究船や探査機に触れられる催しです。なお、諸事情により予定を変更する場合もありますので、詳細はJAMSTEC HPでご確認ください。

日　程	船舶等	場　所	催事名
5月5日（土）	よこすか・しんかい6500	宮崎港	宮崎みなとまつり2018
5月12日（土）	よこすか・しんかい6500	横須賀本部	JAMSTEC本部施設一般公開
5月27日（日）	かいれい	神戸港	OCEANS'18 MTS／IEEE Kobe／Techno-Ocean2018
7月16日（月）	よこすか・しんかい6500	未定（首都圏）	海の日行事“海と日本プロジェクト”
7月22日（日）	かいれい・かいこう	横浜港	海洋都市横浜うみ博2018
10月13日（土）・14日（日）	よこすか・しんかい6500	別府港	第33回国民文化祭・おおいた2018 第18回全国障害者芸術・文化祭おおいた大会"
12月9日（日）	よこすか・じんべい	横須賀新港 久里浜港	ペリーふ頭黒船朝市

JAMSTEC NEWS なつしま　隔月刊行 第 151 号（通巻 368 号）　制作・発行：国立研究開発法人海洋研究開発機構 広報部広報課
〒237-0061 神奈川県横須賀市夏島町 2 番地 15　http://www.jamstec.go.jp